

(表4) 現代日本医療の霊性・宗教性の重層性

現代日本の医療と霊性・宗教性

表層(後天的・獲得的・教養的・建前論的):

医療・教育において霊性・宗教性は禁句! オカルトには腰が引ける(どうする?)。
儒教道徳・精神の追放(paternalism追放)。

情報開示・informed consent・病名告知。移植医療。国境なき医師団・在宅看護

深層(先天的・生来的・遺伝的・民俗的):

霊性・宗教性を認める。死体に靈魂。葬式・盆・暮れ・祭り(日本式儒教化仏教)
マスコミ的オカルト・占い・祟り・遺恨・怨恨。

儒教的精神(家族内のことは外へ言いたくない。家の恥。外聞が悪い)

病名は本人には言わないで! キリスト教的service/donation精神は未熟・ない?

移植臓器は肉親へ提供。移植のための脳死(日本的擦れ・歪み)。

医療における感性の原初的共鳴(vibrational medicine)・癒しの医療

神仏に祈願/加護・シャーマニズム

cf:most popular CAM in USA prayer

根源的深層精神構造は、霊・霊性を認め、真にグローバル的共通!!